

# 大事協だより

大島地区公立小中学校  
事務職員協会 研修部  
第 51 号  
2015 年 12 月 18 日発行

今回は、龍郷町・奄美市笠利・伊仙町・大和村からの事務職員部会研修会の活動紹介を掲載しています。

## 龍郷町事務職員部会

### 龍郷町立龍郷小学校 竹/内 義隆

みなさん、こんにちは。龍郷町事務職員部会です。今年度は2名の異動があり、昨年度同様8名でスタートしています。学校数は小学校6校、中学校2校、小中併設校1校の計9校で、その内小学校1校が未配置校です。

現在共同実施が始まり、2年が経過しました。月4回程度（9：00～12：00）拠点校の龍南中学校に集まり活動しています。開催日については、各学校の行事等も考慮しながら柔軟に対応しています。

活動内容としては、諸手当認定業務や給与データ報告書・旅費請求書等の相互確認を中心に行っています。比較的開催日が多いので、相互確認以外に質疑応答や事務連絡の時間も十分確保され、特に若手の事務職員にとっては日頃の疑問等を解消することができてとても助かっています。

他にも教科書事務の研究、職員向けリーフレットの見直し・作成、学期3回の支援室便りの発行、支援室HPの運用なども行っています。特に支援室HPは今年度より本格的に運用が始まり、先生方への情報発信に大きく貢献しています。事務や町の行事に関する情報、支援室便りの掲載等多くの方に見ただけのように日々工夫を凝らし、記事を作成しています。ぜひ一度ご覧になってください。

[http://www.town.tatsugo.lg.jp/school\\_portal/support\\_room/](http://www.town.tatsugo.lg.jp/school_portal/support_room/)

）今後も龍郷町事務職員部会を宜しくお願い致します。



### 奄美市笠利地区学校事務支援室 奄美市立赤木名小学校 萩原 麻緒

こんにちは。笠利地区事務支援室です。

笠利町は奄美大島本島の最北端に位置しており、はじっこなので一周海を眺めながらドライブすることができる、開放的でリゾートチックな、気持ちのいいところです。空港を擁する場所だからか、町民の皆さんもオープンなおおらかな方が多く、素敵な町です。笠利地区支援室は10校7名で構成していますが、昨年度異動があったのは2名、うち1名は町内での異動で、

ほとんどメンバーに変わりがなく嬉しかったです。

支援室は月に3回、原則水曜の午後が開かれており、総務、認定、給与旅費、研修、財務、広報の6つに役割分担をしてそれぞれが中心になって業務を進めています。今年度は通知に基づき、事務支援室も自主検査の補助をするということで、一年に一回、それぞれの学校に出向いて自主検査をするようになりました。それとは別に以前からの相互自主検査も行っており、今年は新規採用者が1名、3年目が2名と若年化したことを考えると非常に手厚いサポート体制です。研修は「笠利町事務の手引」の加筆・修正を中心に行っており、1人が修正を加えたものを全員で確認します。また、昨年度までは施設点検に力を入れていましたが、今年度からは新たな教育支援を模索中です。広報は広報誌「シャリバイ」A3両面を毎月発行するのを目標としていましたが、道半ばで挫折。来年度こそは毎月発行を狙います。

研修会等に行くといつも笠利地区支援室は楽しそうですね、と言われます。本当は騒がしいと言われているのかなと思いつつも、支援室の仲が良いのは自慢だと思っています。もしかしたら騒がしいのかもしれないませんが、温かく見守っていただけると幸いです。今後とも笠利地区事務支援室をよろしく願います。



## 伊仙町小中事務職員研修会

### 伊仙町立伊仙中学校 事務職員 宿里 洋平

みなさん、こんにちは。伊仙町小中事務職員研修会です。私たちは中学校3校、小学校6校の9名の職員で活動しています。児童・生徒数の減少により小規模校が多くを占めます。それゆえ廃校の危機も感じられる昨今でしたが、先日行われた鹿浦小学校の開校90周年式典では大久保町長より子どもの在籍数が少ない学校でも廃校はありえないという言葉がありました。今年は龍郷町よりベテランの潤先生を迎え、ますます充実した活動を行えるようになりました。

我々の活動は、月に1回の事例研修を中心とした研修会と月に2回の共同実施を主な活動としています。

研修会では学期に1回は個人研究レポートを発表することにしており、今年は幸多先生が「鹿浦小学校近辺の遺跡のフィールドワーク」、潤先生が「龍郷町での共同実施」について話されました。

共同実施においては、教育委員会に設置された事務支援室に全職員が集まり、手当認定・相互点検・事務便り「わいどステーション」の作成等を中心に活動しています。

今後も伊仙町小中事務職員研修会をよろしくお願ひします。



(徳之島の海)

### 大和村立小中学校事務支援室 大和村立名音小学校 山田 智子

大和村は今年度新規採用職員を迎え、気持ちも新たにスタートしました。年代も経験年数もバラバラですが、「大和村事務支援室を盛り上げていこう」と日々協力しながら業務に励んでいます。

今年度は支援室業務として「新規採用職員への支援」を行うことになり、月2回の支援室では毎回必ず「新採支援コーナー」を設けています。給与事務や旅費事務、村費事務など日々の業務を進めるうえでわからないことや困っていることなどを挙げてもらい、一緒に考え解決するようにしています。出てくる質問は即答できるものもあれば回答につまるもの、経験があっても忘れてしまっているものもあります。普段は物静かな3人が激論を交わし悩んだ末、「次回までに調べてきましょう」と宿題になることもよくあります。

村内の学校は小規模校ばかりです。諸手当認定などの事例も少なく、研修を深めていくことに難しさを感じることもあります。しかし、新採者の疑問を一緒に解決していくことでお互いのスキルアップに繋がっているのではと思います。

昨年度は合同管外研修や四町村合同研修会を実施し、他町村の取組について学んだり、情報交換を行ったりすることができました。普段の研修だけでは足りない部分も、交流を深めることでカバーできているのではないかと思います。このような機会を作っていただいたことに感謝です。

3人の小さな支援室ではできることに限りがありますが、今後も事務所や他市町村からの協力をいただきながら、焦らず取り組んで行きたいと思っています。



(大和村執務室からの景色です。海を見ながら活動しています。)

### 平成27年度新規採用者より 奄美市立笠利小学校 霧島優江

新規採用で4月から奄美に来て早2学期も終わろうとしています。この時期になっても暖かい気候に驚かされつつも、毎日可愛い子ども達的笑顔に癒されながら日々を過ごしております。

赴任した当初は、自分が何をしていけばいいか、この用語の意味は何だろうかと右往左往する毎日でしたが、笠利地区支援室の先生方がやさしく丁寧に説明してくださり、時には学校へ来て一緒に作業をしていただいたおかげで、ここまで乗り越えることができました。また、職場内におきましても先生方に温かく見守って声を掛けていただいて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。最近では、子ども達に本の読み聞かせを初めてしましたが、私が緊張している中でも一生懸命に聞こうとしてくれる姿がとても嬉しく、少しの事でも子どもの教育に関わることができたという実感が湧いたとともに、もっと仕事を頑張っていきたいと思う活力になりました。

まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、一つ一つの仕事を丁寧にまた来年度、再来年度の未来に向けてもしっかりと経験を積んでいけるように頑張っていきたいです。

### 大和村立大棚小学校 平田 いえ

早いもので大棚小学校に赴任してから8ヶ月が過ぎました。最近は日々の業務に慣れてきたのか、少しだけ気持ちに余裕が出来たように感じます。

事務職員は子どもたちと直接関わることが少ないと考えていましたが、昼休みに一緒に遊んだり、事務室に音読に来てくれたりと、たくさん子どもたちと関わる機会があり、そのたびに元気をもらっています。子どもたちと関わるうちに、学校を安心して楽しく過ごせる場所に出来るように自分が出れることを精一杯やろうと改めて感じました。

また、赴任したばかりの頃は、支援室の先生方に言われるまま事務の作業をしていましたが、内容をほとんど理解出来ていなかったことを覚えていますが、それでも電話で分かりやすく説明してくださったり、直接学校まで来て指導してくださった支援室の先生方にとっても感謝しています。今では少しずつですが業務の内容を理解し、事務の知識もついてきたと思います。いつか自分も頼れる事務職員になれるように日々努力していきたいです。